

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	商学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

○2009年度からの目標

1. 商学演習（1年次必修科目）における共通講義内容（ベンチマーク）を作成し、教員に徹底する。
2. 各学年の履修申請単位数上限を2～4単位程度引き下げ、一方でGPA上位の学生には単位数制限を緩和する。
3. シラバス内容と整合する授業が実施されているかを確認する。
4. 全科目のシラバスにおいて評価方法を明示する。
5. 成績評価結果を教員へ公開する。
6. 単位認定の適切性を定期的に確認する。
7. FD委員会主催の授業改善のための研究会を継続し、FD委員会主催研究会への参加教員を増加させるとともに、教員からの提案・議論の活性化および授業改善取組事例の共有を進める。

○指標

1. 商学演習の共通講義内容（ベンチマーク）の作成。毎年4月の教授会での配布と確認。
2. 履修申請単位数。内規の改正。
3. シラバスの遵守について教授会での確認。
4. ネットシラバスへの評価方法の記載率。
5. 事務室における成績評価結果の常時閲覧実施の有無。
6. 単位認定数。定期的な単位認定の見直し内容。
7. FD委員会主催の研究会の開催数。FD委員会主催の研究会への参加教員数。授業改善取組事例の報告数。